



2011年8月8日  
国際協力機構（JICA）  
カンボジア事務所

**全国事業所数は 503,008 ヲ所  
98%が従業員 10 人以下の零細企業  
カンボジア初の経済センサス（速報）を発表**

カンボジアで初めてとなる経済センサスの速報結果が8月8日（月）、カンボジア計画省統計局によって発表されました。センサスは、2011年3月1日現在で、カンボジア国内にあるすべての事業所を対象とし、所在地、従業員数、売上高、資産などを調べました。これまでこうしたデータは存在せず、国民の経済活動の全体像を統計で把握することが極めて困難でしたが、経済センサスにより、初めて、信頼性の高いデータが入手できることになりました。

日本政府及び国際協力機構（JICA）は、この経済センサスに対し、技術協力プロジェクト「カンボジア政府統計能力向上計画」を通じて、2005年8月以降、5年余りにわたり、統計専門家の派遣、人材育成や資金協力をしてきました。

以下、速報結果の一部をお知らせします。速報結果（英文）は、次のホームページに公表されています。確報は来年3月に発表予定です。[http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/ecp\\_repl.htm](http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/ecp_repl.htm)

**<19%が首都に集中>** 3月1日現在のカンボジア全国の実業所数は50万3008カ所。1,000人当たりの実業所数は34.6となり、日本の48.4、インドネシアの102.3、ラオスの37.4よりも少なくなっています。実業所数が最も多いのは首都プノンペンに集中で約95,467カ所。全体の19%を占めています。2位以下は、コンポンチャム、カンダール、バタンバン、シェムリアップが続き、全24州中、これら上位5州に実業所数の5割が集中していることが分かりました。

**<98%が零細企業>** 実業所の規模では、全体の98%が従業員10人以下で、カンボジアの実業所のほとんどが零細企業であることが分かりました。51人から100人までの実業所は779カ所（0.2%）、101人以上の実業所は638カ所（0.1%）でした。

**<「注目州」が浮き彫りに>** 人口1,000人当たりの実業所数を州別で見ると、最も多いのがプノンペン（54.7）で、次いでプレア・シアヌーク（43.1）、ケップ（40.7）、コンポンチュナン（38.3）、コッコン（37.7）の各州となっています。いずれも道路や電力などのインフラ整備が急速に進み、経済活動が活発になった州で、特に、日本の全面支援で建設中のシハヌークビル港経済特別区を抱えるプレア・シアヌーク州や、食品製造業が急伸するコンポンチュナン州は注目されています。

<問い合わせ先>

JICA カンボジア事務所

本件 担当：灘本 ([Nadamoto.Satoko@jica.go.jp](mailto:Nadamoto.Satoko@jica.go.jp)) /

広報：下地 ([ShimojiMihoko.CM@jica.go.jp](mailto:ShimojiMihoko.CM@jica.go.jp))

Tel: +855-(0)-23-211-673

Fax: +855-(0)-23-211-675

P.O.Box 613m 6th-8th Floors, Building #61-64

Preah Norodom Blvd, Phnom Penh